

JENESYS2017 招へいプログラム第 19 陣の記録
テーマ：日 ASEAN 青少年スポーツ交流（サッカー）
対象国：ASEAN9 各国及び東ティモール

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2017」の一環として、ASEAN9 各国及び東ティモールより、サッカーに関心を有し、今後の活躍が期待される青少年及び各国引率者、サッカー協会関係者等 229 名が、2018 年 3 月 6 日～3 月 15 日の日程で来日し、「日 ASEAN 青少年スポーツ交流（サッカー）」をテーマとしたプログラムに参加しました。

公益財団法人日本サッカー協会協力の下、一行は、KIRISHIMA ヤマザクラ 宮崎県総合運動公園において、日々、練習や交流試合を通じて熱戦を繰り広げ、チームワークや自身の技術を高めるとともに、参加国同士の交流を進め、友情を深めました。また、同世代の日本人チームとの交流会を通じ、日本人の生活や価値観への理解を深めました。

テーマに関する講義の聴講、視察、試合観戦のほか、歴史的建造物や先端技術の施設見学を通じて幅広く日本を理解し、様々な体験について SNS を通じて対外発信を行いました。

また、帰国前の報告会では訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

229 名（インドネシア 23 名、カンボジア 24 名、シンガポール 23 名、タイ 21 名、東ティモール 23 名、フィリピン 21 名、ブルネイ 24 名、ベトナム 24 名、マレーシア 23 名、ラオス 23 名 ※50 音順）

【訪問地】

東京都、宮崎県、神奈川県

2. 日程

- 3 月 6 日（火） 羽田/成田空港より入国
宮崎県へ移動
【オリエンテーション】
- 3 月 7 日（水） 【日本理解講義／基調講演】” For the Future of Asia”（公財）日本サッカー協会
【スポーツ交流】国別練習（希望チーム）
- 3 月 8 日（木） 【スポーツ交流】交流試合
【歴史的建造物等視察】青島神社／青島（参加国の一部）
- 3 月 9 日（金） 【スポーツ交流】交流試合

- 3月10日(土) 【歴史的建造物等視察】青島神社／青島(参加国の一部)
 【スポーツ交流】交流試合
 【歴史的建造物等視察】青島神社／青島(参加国の一部)
 【ワークショップ】
- 3月11日(日) 【スポーツ交流】交流試合
 【交流会】
- 3月12日(月) 【スポーツ交流】
 東京へ移動
- 3月13日(火) 【表敬訪問】岡本三成外務大臣政務官
http://www.mofa.go.jp/mofaj/a_o/rp/page3_002412.html
 【報告会】
 【テーマ関連施設視察】日本サッカーミュージアム
 【都内視察】台場
 【テーマ関連施設視察】カシマサッカースタジアム AFCチャンピオンズリーグ観戦
- 3月14日(水) 【文化体験】大本山総持寺 座禅体験 (参加国の一部)
 【最先端技術視察】日本科学未来館
- 3月15日(木) 成田/羽田空港より出国

3. プログラム記録写真

	
<p>3/7 【日本理解講義／基調講演】” For the Future of Asia”</p>	<p>3/8 【スポーツ交流】交流試合</p>
	
<p>3/9 【歴史的建造物等視察】青島神社／青島</p>	<p>3/11 【スポーツ交流】交流試合</p>

	
<p>3/13【表敬訪問】岡本三成外務大臣政務官</p>	<p>3/13【報告会】</p>
	
<p>3/13【テーマ関連施設視察】日本サッカーミュージアム</p>	<p>3/14【最先端技術視察】日本科学未来館</p>

4. 参加者の感想（抜粋）

◆インドネシア 学生

日本を訪れる機会が得られてとても嬉しく思います。日本はインドネシアに比べ気温が低く寒いだけでなく、二国間には他にも様々な相違点があることに気が付きました。公共交通においては環境に配慮した車両の運用が実践されています。利用したバスは、信号で停車したときにエンジンをその都度停止させていましたし、乗客全員の着席が確認されるまでは決して走行を再開させようとはしませんでした。また、規律や美化に関する学びも得ることができました。公共の場所には大抵ごみ箱が設置されていないため、ごみはそれぞれが自宅に持ち帰り処理しなければならないのです。プログラムを通じて日本についての知識が深められ、有益でした。

◆カンボジア 学生

日本の生活や文化を知る機会を頂き嬉しく思っています。日本はマナーをきちんと守り、ゴミのないきれいな国です。特に日本人は丁寧で、お互いに助け合っている印象を受けました。母国に帰ったら、自分の足りない部分に応用していきたいです。

◆シンガポール 学生

今回のプログラムはすべてが素晴らしく、実り多い経験になりました。日本人の仕事ぶりや暮らしぶりについて学んだことの中には、より良い生き方のためにも外国からきた私たちが自国に持ち帰って実践できることがあると思います。

◆タイ 学生

将来、また日本に戻ってきて、日本サッカー協会の練習に参加したいと思いました。

そして今回学んだ知識をタイのサッカー協会で活用したいと思います。日本サッカー協会の講義に大変感動しました。日本サッカー協会のプロフェッショナルさを見せてくれたからです。また各国の選手とサッカーについて話をし、意見交換することができたことに感動しました。どの国の選手もお互いを尊重し、素晴らしいチームワークでした。

◆東ティモール 学生

日本で印象的だったのは、日本文化を知ることができたことでした。その中でも日本人からは、規律の正しさを学びました。日本と様々な国の人達からサッカーを学べたことが自分にとっては有意義でした。最後になりますが、東ティモールの仲間たちと共に JENESYS プログラムに参加できたことが自分にとっては素晴らしい経験になりました。

◆フィリピン 学生

サッカー以外のプログラムで最も有意義であったのは文化体験でした。その始まりは、和室での寝泊まりで、とても楽しい体験となりました。それは新しい文化体験で、フィリピンでは決して体験できないことです。2つ目は温泉です。グループで裸を見せ合うということに慣れていないため、ぎこちなかったのですが、とても楽しい経験でした。最後に、神社と青島への訪問はとても楽しかったです。島の景観の素晴らしさに加えて、多くを学ぶ体験となりました。

◆ブルネイ 学生

JENESYS プログラムからたくさんのことを学びました。このプログラムで、鹿島アントラーズ対シドニーFC のプロのサッカーの試合も見ることができました。帰国後、私が経験したことを自国の友達に話したいと思います。もしまた日本に来る機会があれば、自分の家族とともにもっと多くの体験をして、新しいことを学びたいと思います。この交流プログラムは他の国の参加者たちと話すことができ、友達を作ることができ、とても楽しかったです。日本人は友好的で親切でした。いつも私たちを助けてくれました。日本人は、責任感があり、お互いに敬意を持っていると感じました。

◆ベトナム 学生

日本に来て、近代的な日本の姿に驚きました。日本人はとても親切で、手伝って欲しい時はいつも手伝ってくれました。日本人はいつも時間を守ります。日本人は自らを律して、規則正しく仕事をしていました。また、日本はどこもきれいで、道にゴミがありません。帰国後、日本の国の美しさを友達や家族に伝えようと思います。

◆マレーシア 学生

日本を始め他の ASEAN 諸国と知識・文化を共有できた事は、帰国後の私たちの成長に大いに役立つと思いました。日本サッカーミュージアム・サッカースタジアム訪問やそこの試合見学により、士気が上がり刺激を得ました。また、一生懸命務めなければという気持ちになり、自身の向上に役立ちました。このプログラムは全ての訪日団に様々な学びを提供してくれました。文化・社会・人々・どのように勤勉であるべきか、敬意を払うかという伝統、サッカーの交流試合においてはスポーツマンシップなどです。こ

のプログラムが今後も続き、更に知識を共有し、他国、特に日本と良い関係を構築するために私たちの国を招聘してくれることを期待しています。

◆ラオス 学生

今回のプログラムを通じ、新しい体験や環境に接することができたことに感激し、光栄に思っています。日本はとても寒かったですが、日本人はとても温かかったです。日本人はとても優しく、そして、時間にとっても厳格でした。また、日本人は、人との関わりの中で、遠慮する気持ちや尊敬する気持ちを持っていました。最後に、今回の JENESYS プログラム参加によって、ラオスサッカー代表と私はサッカーだけでなく、日本の文化、規律を学び、そして素晴らしい経験を日本で得ることができました。

5. 受入れ側の感想

◆ 交流参加学生

各国の文化を知ることができ、とても良い勉強になりました。こういった交流をすることによって、日本に来てくれる人が多くなるといいますし、自分たちも知らない国について学ぶことができるのでとても良い機会となりました。

◆ 交流参加学生

ジェスチャーや簡単な英語で交流できることが分かり、とても楽しかったです。交流会のパフォーマンスでは、その国の文化や特徴が分かり良かったです。

6. 参加者の対外発信

 <p>rezafauzan04 • フォローする 宮崎観光ホテル</p> <p>いいね 2,695件 rezafauzan04 The first trophy of 2018 for Indonesia 🇮🇩 #winners 🏆 #Jepang 🇯🇵 #jenesys2018</p>	 <p>likes by miurrafik, danish_siregar and 12 others jenesys2017singapore A visit to the Aoshima Island. One of the schedule programmed in this Jenesys2017 event. Lots of fun enjoying the beautiful scenery. #jenesys2017 3 DAYS AGO</p>
<p>(インドネシア) 試合についての発信 (Instagram) インドネシアの2018年最初のトロフィー!</p>	<p>(シンガポール) 青島についての発信 (Instagram) 青島を訪問。JENESYS2017 プログラムの一つ。とても楽しく、美しい景色。</p>

 <p>PHILS U16/15 Born 2002 Youth Team - 2017</p> <p>Home Posts Reviews Videos Photos About Community</p>	 <p>いいね 469件 alif_mutalib wish us luck for tomorrow againts JAPAN 🇯🇵🇯🇵 コメント10件すべてを表示 malayantiger.my come on 🇲🇾🇲🇾</p>
<p>(フィリピン) 試合観戦について発信 (Facebook) AFC チャンピオンリーグを観戦。鹿島アントラーズ対シドニーFC</p>	<p>(マレーシア) 試合についての発信 (Instagram) 明日の対日本戦の幸運を祈る！</p>

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

<p>アクション・プランの発表1(シンガポール) 日本人は親切だった。挨拶のときも笑みを浮かべる。これは他人へ敬意を払っているからである。また人だけでなく環境にも敬意を払っており、日本は環境に優しい社会を形成している。私達のチームも、人に親切に、そして環境に配慮して行くことにした。その中で、自分たちの人間性を育てていきたい。対象は周囲の人々、実施するのは毎日である。</p>	<p>アクション・プランの発表2(東ティモール) ①プログラムで得た日本文化、気候、生活などの情報を SNS で発信する。 ②才能ある選手を確保し、選手の能力を向上させるため、全国 U15 サッカーフェスティバルを開催する。</p>
<p>アクション・プランの発表3(ブルネイ) プログラムで得た経験や日本の魅力を SNS で発信したり、直接話をしたりすることで、友人や家族、ブルネイの人々に伝え、休暇を利用して日本を訪れるよう促す。</p>	<p>アクション・プランの発表4(マレーシア) マレーシア人は時間を守らない人が多いので、学校やサッカーアカデミーで「時間を守ろう」キャンペーンを実施する。この活動を通して人々の意識が変わり、時間を無駄にしないようになることを期待する。</p>